

ALT



こんにちは
エリック・コズィオール
外国語指導助手 (ALT)
です

給食

僕の1日の中で、一番刺激的な時間が給食の時間です。

僕の1日はいつも本当に刺激的ですが、給食の時間が刺激的なのはその量がすごく多いからで、僕が食べることをこよなく愛しているからではありません。食べ物は何でも好きですが、学校の給食は特別なのです。

給食では立場が逆転し、僕は教える側ではなく、教えられる側になるのです。食べている物について、質問しない給食は1つもないといえるくらいです。でもときどき、生徒たちでさえ、その料理がなんと呼ばれているのか知らないことがあるのです。食べ物について話し終えたときには、そのほかの身近な物について話します。給食の時間はみんなと話し、生徒たちについてよく知ることのできる貴重な時間であり、このことは給食時間を実にリラックスした楽しい時間にしてくれます。

昼食時間はアメリカでも、リラックスできる時間であることに違いはありません。しかし、日本とアメリカの給食がどんなに違うかということなら、何時間でも話すことができるでしょう。教室でみんなが全く同じ物を食べ、生徒たちが給仕をする。アメリカでは経験しなかったことです。このようなことが行われていないとは言い切れませんが、そんな経験があるという人を僕は知りません。でも一番の大きな違いというと、僕たちは小学生の時に、昼食を買ったということです。1列に並んで待ち、食べ物を受け取り、お金を払う。小学1年生の児童でさえ、そうしなければいけなかったのです。

日本とアメリカの昼食時間には、違いはあるかもしれないけれど、両国ともにみんなをほんの少し、近づけてくれるすばらしい時間だと思います。

*この記事は、ALTの書いた英文を訳したものです。
英語版は中央公民館にあります。

楽しい夏休み 子どもたちを守りましょう

夏休みは、子どもたちが学校から外の世界へ目を向ける「社会勉強」の時期です。しかし、夏休みは楽しいことばかりではなく、危険や誘惑がつきまといまいます。

- 非行や犯罪から子どもを守りましょう
- 水の事故や交通事故から子どもを守りましょう
- 未成年者の飲酒・喫煙をなくしましょう
- 明るい家庭・明るい地域を作りましょう



青少年センター ☎24・3004